

# 平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

## 全体の概要

大阪市立大桐 中学校

生徒数

160

## 平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	27.47	27.41	38.05	49.95		78.03	8.29	185.95	20.37	37.75
大阪市	29.05	27.74	41.48	52.14	410.43	85.66	8.06	192.58	20.29	41.72
全国	28.84	27.36	43.44	52.24	392.65	86.06	7.99	195.62	20.55	42.32
女子	22.74	22.97	44.99	44.93		55.34	9.11	161.07	14.01	46.52
大阪市	24.06	23.91	44.95	47.47	304.56	59.88	8.89	168.48	12.96	50.14
全国	23.87	23.87	46.22	47.37	286.85	59.87	8.78	170.26	12.98	50.61

## 結果の概要

男子は「上体起こし」について全国を上回り、「ハンドボール投げ」については大阪市を上回る結果となったが、その他6種目に関しては、全国・大阪市を下回る結果となった。女子は「ハンドボール投げ」について全国を上回り、「長座体前屈」については大阪市を上回る結果となったが、その他6種目に関しては、全国・大阪市を下回る結果となった。

体力の合計点を比較しても男女共に全国・大阪市を下回る結果となっている。向上している部分はあるが、総合的な体力の向上は図れていないのが現状である。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

女子に関しては前年度と同様に「ハンドボール投げ」に関して全国・大阪市を大きく上回る結果になった。そして更に「長座体前屈」も平均が上がり、体力の向上に向けての取り組みの成果がみられる。

男子においては「上体起こし」が昨年度の本校の記録から大きく上回り、結果として全国の平均を超えることができた。

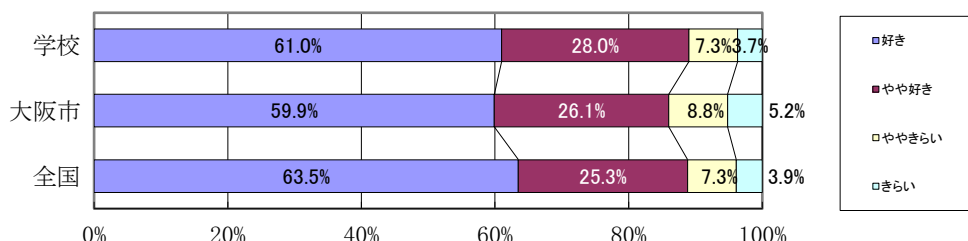
女子の「ハンドボール投げ」、男子の「上体起こし」は現時点で全国や大阪市の平均を上回っており、それらの結果を下げることなく維持することが課題となってくる。そして、毎年、全国・大阪市平均を大きく下回っている「立ち幅跳びや反復横跳び」については、総合的に体力を向上させるという観点から、毎日の授業カリキュラムの中に敏捷性や瞬発力を養う運動を多く取り入れ、苦手としている分野の向上につなげる必要がある。

## 運動やスポーツについて（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

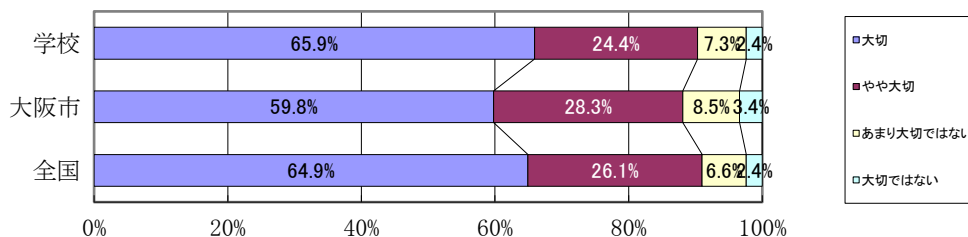
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



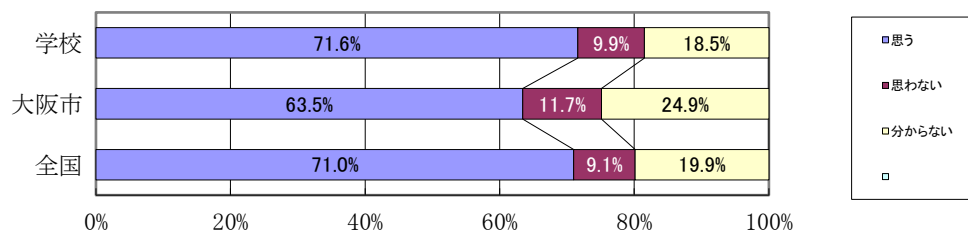
3

あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか。



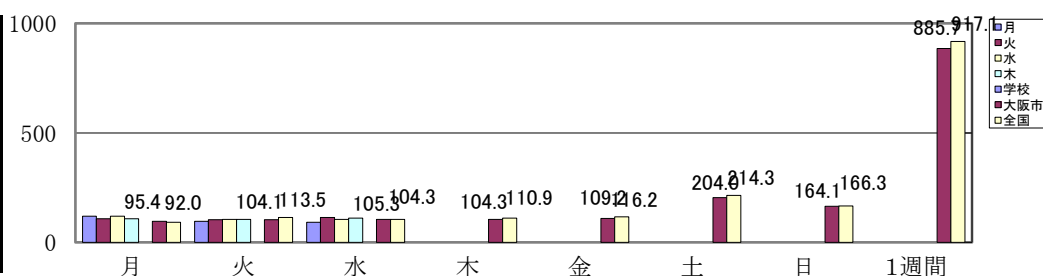
4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



6

ふだんの1週間について聞きます。学校の保健体育の授業以外で、運動やスポーツを合計で1日どのくらいの時間していますか。



### 成果と課題

運動に関する興味や関心が高く、運動やスポーツの大切さを理解して自主的に運動やスポーツに取り組む生徒が多いことがうかがえる。「保健体育の授業以外に運動やスポーツに関わる平均時間」も、全国・大阪市を上回る結果となっており、学校以外でも積極的に活動している生徒が多い。

### 今後の取組

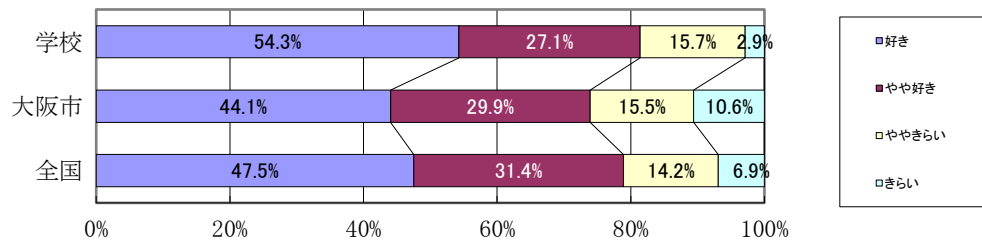
保健体育の時間は当然のこと、運動やスポーツに携わる時間や行事を充実させることで、生徒達の運動に対する意欲を更に高める。さらにそれらを軸に活気あふれる学校づくりに役立てていき、生徒が学校生活を楽しく過ごすことのできる環境を構築していきたい。

## 運動やスポーツについて（女子）

質問事項

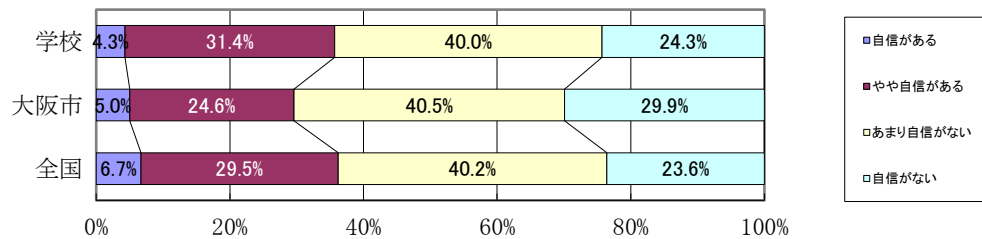
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



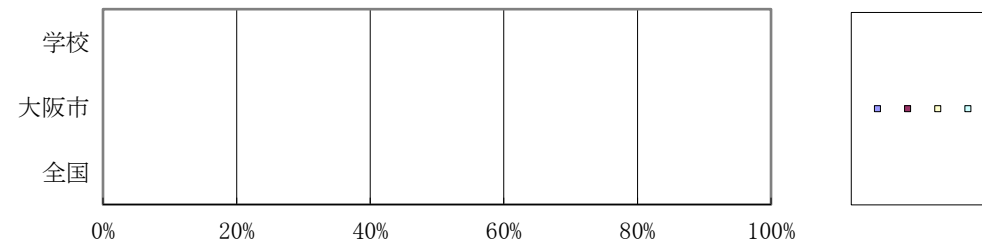
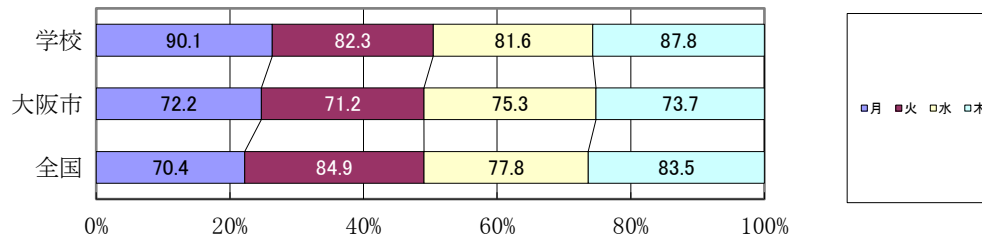
2

自分の体力に自信がありますか。



6

ふたんの1週間について聞きます。学校の保健体育の授業以外で、運動やスポーツを合計で1日どのくらいの時間していますか。



### 成果と課題

運動に関する興味や関心が高く、運動やスポーツの大切さを理解して自主的に運動やスポーツに取り組む生徒が多いことがうかがえる。しかし「自分の体力に自信がある」という項目への回答を全国・大阪市と比較するとはっきりと自信をもつことのできている生徒の割合は4.3%と、わずかではあるが下回る結果となった。

### 今後の取組

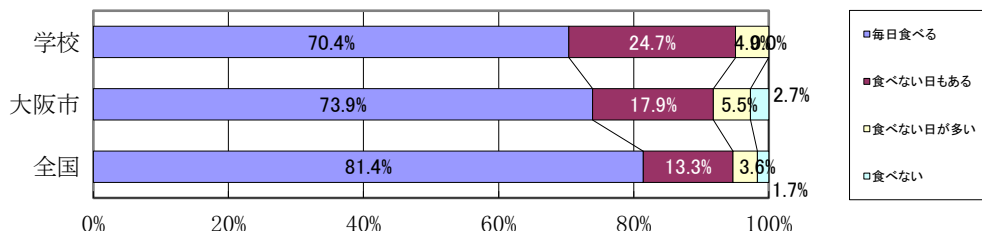
保健体育の時間は元より、運動やスポーツに携わる時間や行事を充実させることで、生徒達の運動に対する意欲を更に高める。さらに、自分の体力などを分析しながら周囲と比較分析し、自信につなげていくことのできるカリキュラムを検討していきたい。

## ふだんの生活について（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

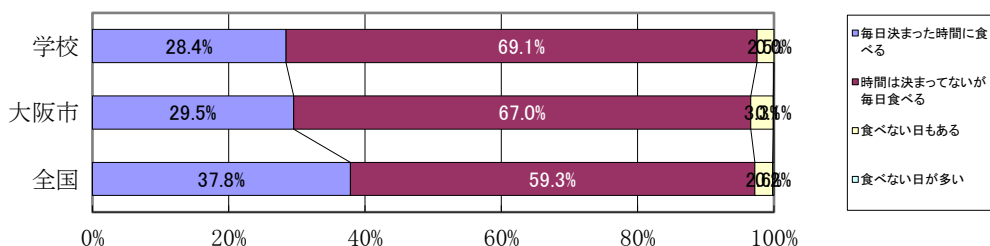
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



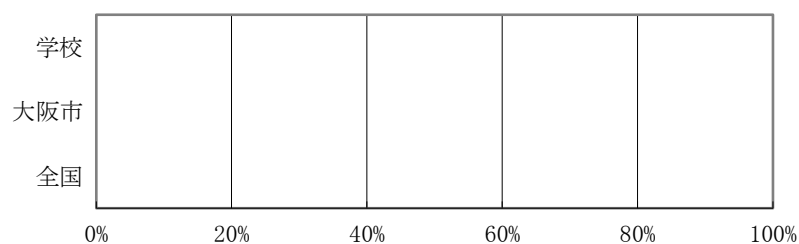
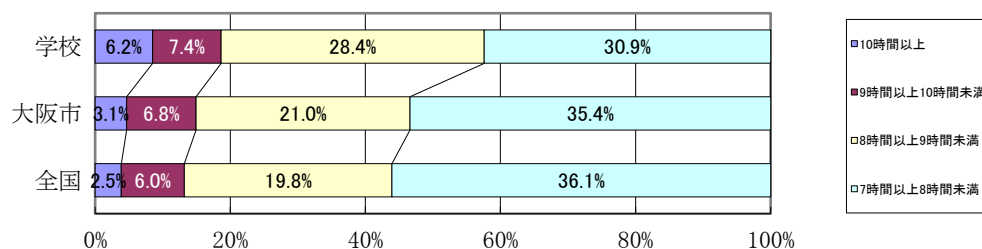
8

夕食は毎日食べますか。  
(学校が休みの日も含む)



9

毎日どのくらい寝ていますか。



### 成果と課題

睡眠時間に関しては、10時間以上6.2%、9時間以上7.4%、8時間以上28.4%、と全国や大阪市と比較しても高い割合の生徒が十分な睡眠をとれていることが分かる。一方、食生活に関しては、朝食や夕食を規則正しくとれている生徒の割合は全国と比べても低く、今後の課題といえる。

### 今後の取組

基本的な生活習慣の確立を基本とし、食生活・睡眠・運動のバランスの大切さを学習するために、保健や家庭科の授業、学年の取り組みなどを通じて学習を進め、保護者とも連携をとりながら生徒の健康的な発育・発達を目指していきたい。

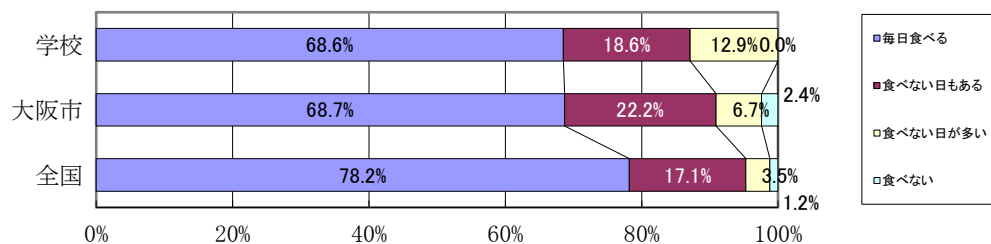
## ふだんの生活について（女子）

質問  
番号

質問事項

7

朝食は毎日食べますか  
(学校が休みの日も含め  
る)



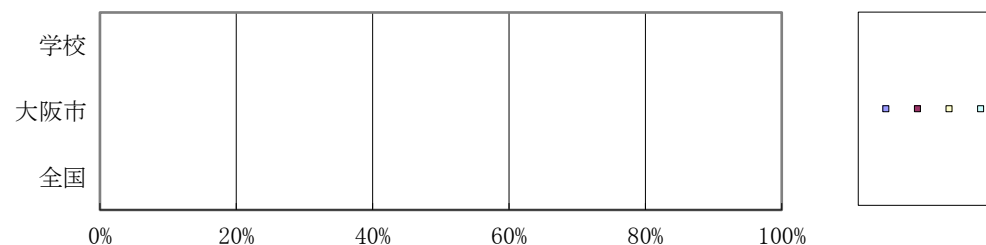
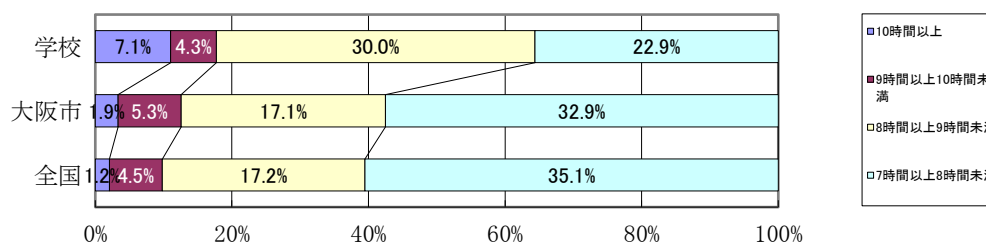
8

夕食は毎日食べますか。  
(学校が休みの日も含む)



9

毎日どのくらい寝ていま  
すか。



### 成果と課題

睡眠時間に関しては、10時間以上7.1%、9時間以上4.3%、8時間以上30.0%、と全国や大阪市と比較しても高い割合の生徒が8時間以上の睡眠をとれていることが分かる。一方、食生活に関しては、朝食や夕食を規則正しくとれている生徒の割合は全国と比べても低く、今後の課題といえる。

### 今後の取組

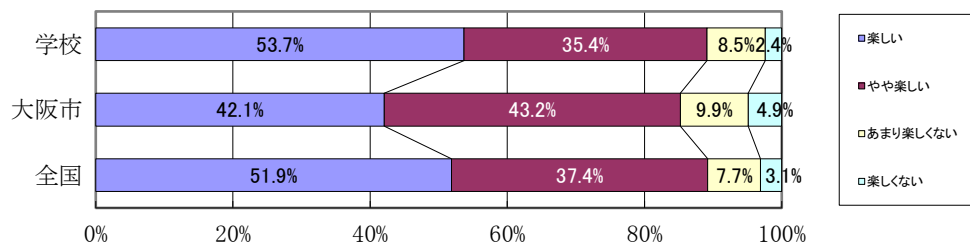
基本的な生活習慣の確立を基本とし、食生活・睡眠・運動のバランスの大切さを学習するために、保健や家庭科の授業、学年の取り組みなどを通じて学習を進め、保護者とも連携をとりながら生徒の健康的な発育・発達を目指していきたい。

## 保健体育の授業について（男子）

質問  
番号 質問事項

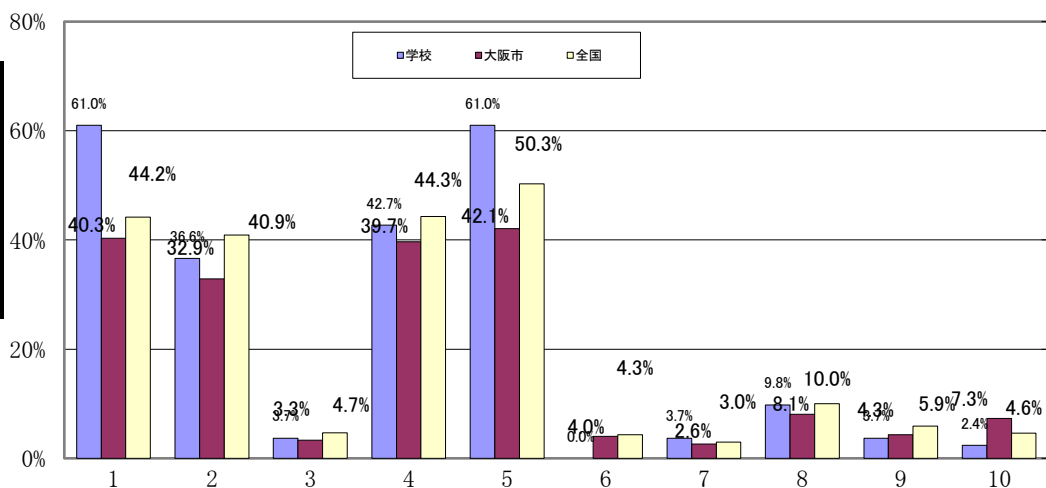
17

保健体育の授業は楽しい  
ですか



24

これまでの体育の授業  
で「できなかったことが  
できるようになった」  
きっかけ、理由はどのよ  
うなものがありましたか

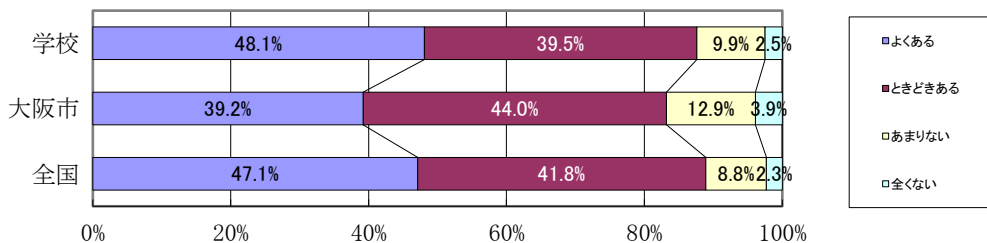


- 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 自分に合った場やルールが用意された
- 友達に教えてもらった
- 授業外で先生に教えてもらった
- 授業外で自分で本やビデオを見た

- 授業中自分で工夫した
- 先生や友達のまねをしてみた
- 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 授業外で自分で練習した
- できるようになったことがない

23

ふだんの保健体育の授業で、  
「わかる」ことで「できる」よ  
うになったり、「できる」こと  
で「わかる」ようになったりし  
たことはありますか。



### 成果と課題

「保健体育の授業を楽しい」と感じている生徒は53.7%であり、全国51.9%大阪市42.1%と比べて、高い割合の生徒が体育の授業に関して興味関心を持ち、参加できていることが分かる。しかしあまり楽しくないと感じている生徒は8.5%、楽しくないと感じている生徒は2.4%と全国平均と同様の割合で保健体育に関して消極的な印象をもっている。

### 今後の取組

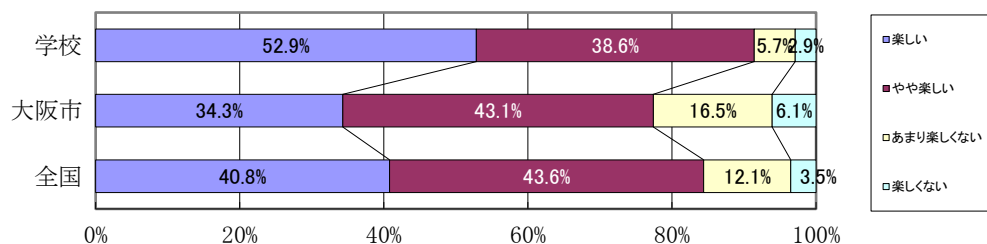
「できなかったことができるようになったり、分かるようになった」と感じている生徒が、48.1%と全国平均より高い割合を示している。その中で、できるようになったきっかけが、「授業中に先生から」が61.0%と高い割合を示していると共に、「友達に教えてもらった」が61.0%と同様に高い割合になっている。このことから、本校の協同学習における学び合いにより、「教師と生徒・生徒と生徒」との間でのコミュニケーションが円滑に行われている結果ともとれる。これらの現状を把握し更に充実した授業形態を確立していきたい。

# 保健体育の授業について（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

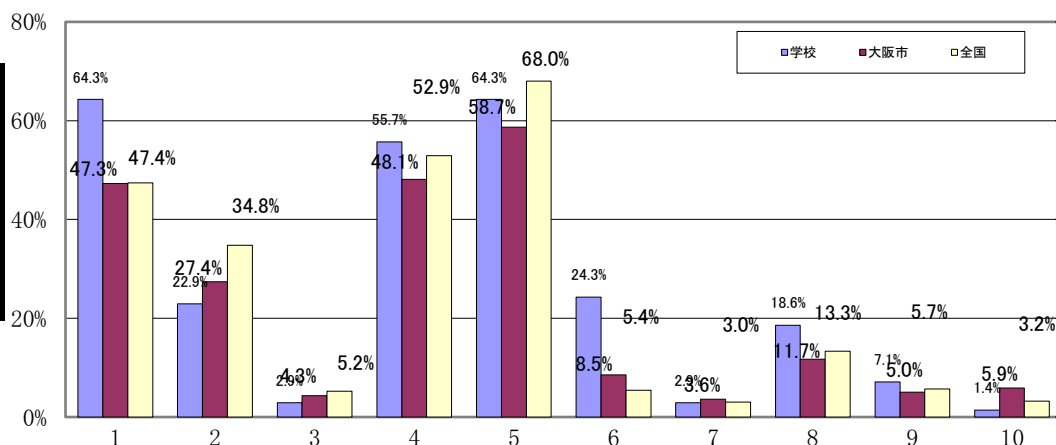
17

保健体育の授業は楽しいですか



24

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか

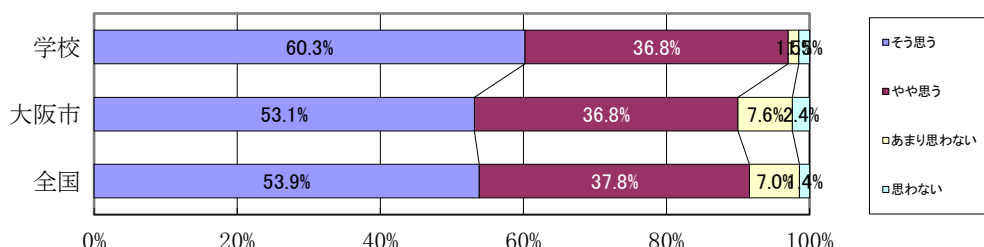


- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

- 2 授業中自分で工夫した
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 8 授業外で自分で練習した
- 10 できるようになったことがない

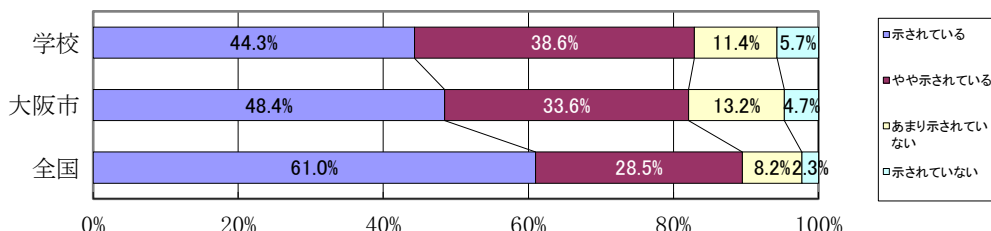
18

ふだんの保健体育の授業では、十分に体を動かしていると思いますか。



19

ふだんの保健体育の授業では、授業の始めに授業の目標(目当て・ねらい)が示されていますか。



## 成果と課題

「保健体育の授業を楽しい」と感じている生徒は52.9%であり、全国40.8%大阪市34.3%と比べて高い割合の生徒が、体育の授業に関して、興味関心を持ち参加できていることが分かる。「普段の体育の授業で十分に体を動かしている」という生徒は60.3%で全国、大阪市を上回る割合で男子に比べても高い割合を示している。一方で「普段の授業で目標が示されている」に関しては44.3%と低い割合にとどまっている。

## 今後の取組

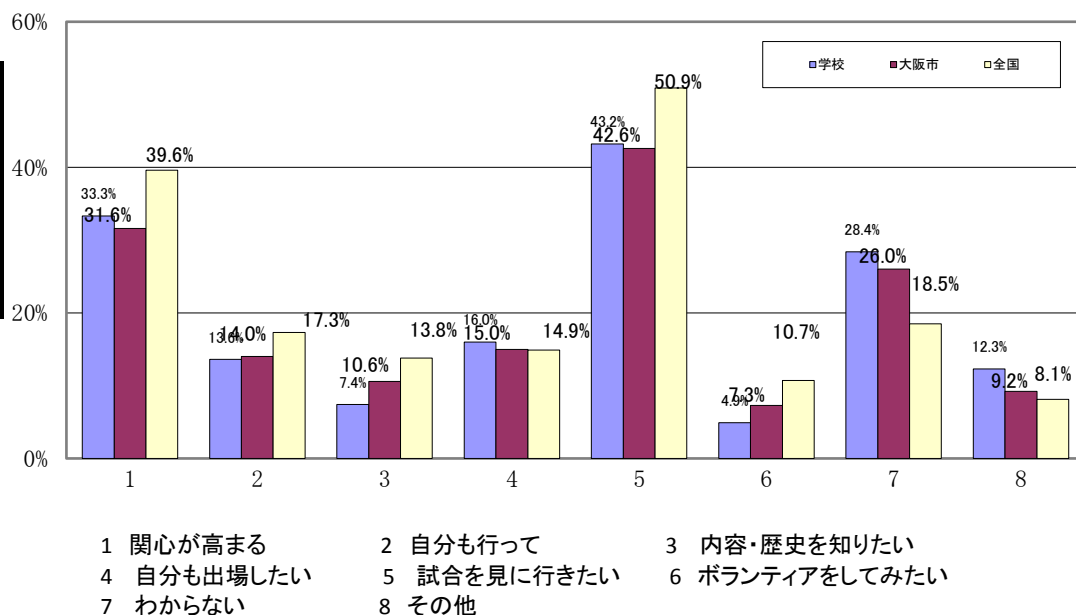
「普段の体育の授業で授業の始めに目標が示されている」という項目においては、本校は44.3%で全国61.0%大阪市48.4%に比べても低い割合になっている。授業において生徒たちは本時の流れを把握するにとどまり、そのまま授業に参加している可能性を示唆している。これを改善し、各授業で明確な目標を設定することで、更なる深い理解や技能の向上に繋げていきたい。

## その他（男子）

質問  
番号 質問事項

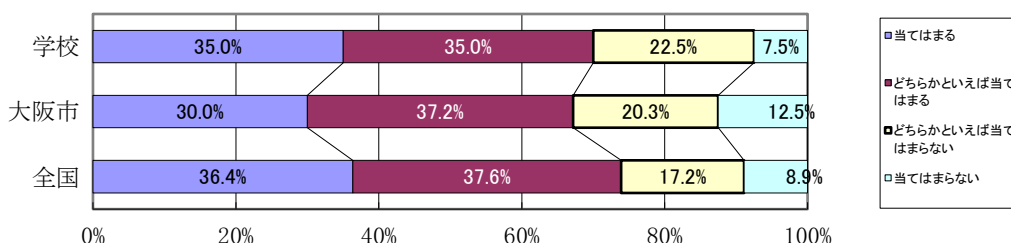
31

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



34

自分には、よいところがあると思う



### 成果と課題

オリンピックへの気持ちとして、昨年度は「自分も出場したいと思う生徒」が22.6%と大幅に全国・大阪市平均を上回っていたが、今年度は16.0%にとどまった。しかしそれでも全国・大阪市の平均を上回る結果となっている。また、「わからない」と答える生徒も全国・大阪市の平均を上回り多い状況となっていることから、生徒らにオリンピックに対する知識や情報が浸透しておらず、オリンピックを身近なものとしてとらえきれていない状況がうかがえる。

### 今後の取組

今後、オリンピックが多く取り上げられるようになってくる中、それらをスポーツに関しての興味・関心を持つ機会としてとらえ「スポーツに挑戦してみたい、うまくなりたい」という気持ちを培うことのできるように、授業の中でも様々な情報を提供していきたい。



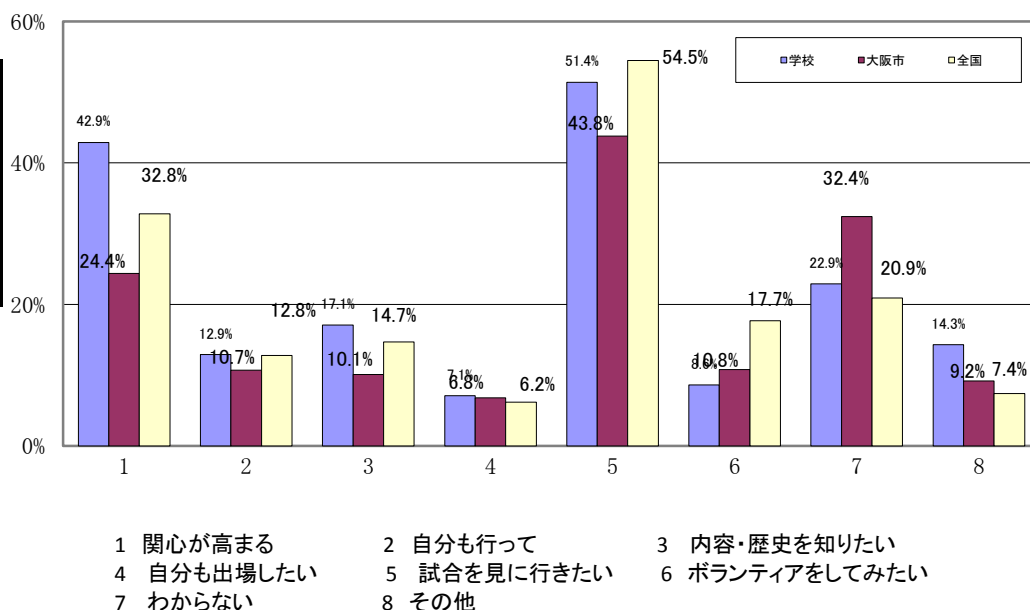
## その他（女子）

質問  
番号

質問事項

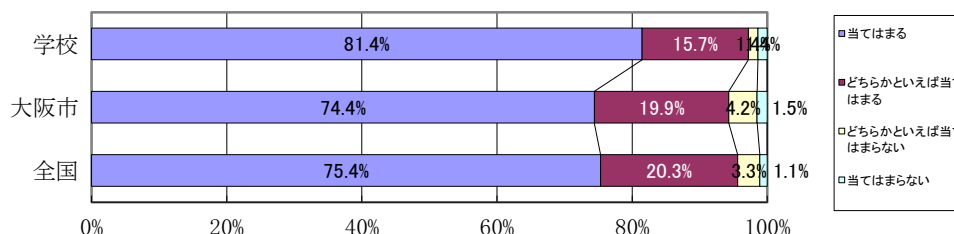
31

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



32

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある



### 成果と課題

東京オリンピックの開催が決定したこともあり、項目1のオリンピックへの関心は大きく高まり全国・大阪市を上回る結果となっている。さらに項目5の「試合を見に行きたい」という関心も強まっているが、全国と比較すると下回っていることが分かる。また、「わからない」と答える生徒も多かった。「最後までやり遂げられてうれしかったことがある」と感じている生徒が「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」という肯定的な生徒をあわせると97%以上あり大阪市・全国平均から見ても高くなっている。

### 今後の取組

今後、オリンピックが多く取り上げられるようになってくる中、それをスポーツに関しての興味・関心を持つ機会としてとらえ「スポーツに挑戦してみたい、うまくなりたい」という気持ちをを培うことができるように、授業の中でも様々な情報を提供していきたい。